



### 特徴

- 温度や湿度などのパラメーターを継続的に監視するためのソフトウェア
- 8つの言語バージョン、複数サイトでの使用や広域の監視に最適
- 事前設定済みレポートとカスタムレポート
- 設定可能なアラーム通知：Eメール、SMS、音声コール、警報表示灯、ブラウザアラート
- メンテナンス期間や作業シフトに合わせて、しきい値アラームとアラジュールが設定できる
- 初めて使用するユーザーのために使用方法についてのガイダンスが装備されています
- ライセンス付与される機能：音声/SMS Web サービス、サードパーティのModbus デバイス、ヴァイサラ OPC UA サーバー、WebAPI

ヴァイサラの viewLinc エンタープライズサーバーには、有線や無線の接続形式を組み合わせる異なる複数のタイプのヴァイサラ製データロガーや Modbus デバイスを接続できます。計測点が 1 ~ 2 箇所の小規模な設置にも、多拠点を監視する大規模システムにも対応できます。クリティカルな規制環境を監視するために設計された viewLinc は、監査証跡、アクセス権限、暗号化による安全性と認証水準で法規制に準拠し、データインテグリティを担保します。

### 信頼性の担保

viewLinc は Microsoft® Windows® サービスとして稼働し、サーバーの再起動が必要な場合は viewLinc サービスが自動的に再開します。ユーザーはサポート対象のブラウザを搭載したネットワークコンピュータまたはモバイル機器を使用して viewLinc にログインします。viewLinc の対応言語は、英語、ドイツ語、フランス語、ポルトガル語、スペイン語、スウェーデン語、中国語、日本語です。また、UTF-8 に準拠しており、マルチバイトの文字セットを使用できます。

### ライセンス

viewLinc エンタープライズサーバーまたはデバイスホストをインストールするにはそれぞれライセンスキーが必要です(許可されるデバイスの数はライセンスキーで定義されます)。音声通知や SMS Web

通知を有効にする、ヴァイサラ OPC UA サーバーや viewLinc Web API と統合する、またはサードパーティの Modbus デバイスを追加するには、追加のライセンスを取得してください。

### アップグレード

旧バージョンの viewLinc (3.6.1 以降) は、5.1 にアップグレードできます。サーバー/データベースのサイズに応じて、アップグレードは数分から数時間(4~6時間)かかります。

### システム要件

- 24 時間 365 日稼働で viewLinc エンタープライズサーバーソフトウェアを常時実行する専用サーバー。
- 1 つ以上のヴァイサラのデータロガー、ヴァイサラの無線データロガー、またはヴァイサラの HMT300 シリーズ変換器。

- データロガーの接続と無線データロガーの設定に使用するヴァイサラのケーブル。

### オプション要件

- ヴァイサラまたはサードパーティの Modbus 対応デバイス。
- 専用サーバーまたは共有サーバー(複数のサイトで viewLinc デバイスホストソフトウェアを実行するデバイスを管理する場合)。
- リモートディスプレイ端末(ユーザー用 PC を使用しないサイトを監視する場合)。
- vNet デバイス、単一ポートまたはマルチポートデバイス(データロガーや変換器、プローブとイーサネット接続する場合)。
- 音声/SMS Web サービスプロバイダーアカウント (Twilio)。音声コール配信にはインターネットにアクセス可能なポートが必要です(一部の地域限定のサービス)。

# 技術情報

## システムサイズごとのシステム要件

データポイントのシステムサイズ	< 20	21 ~ 399	400+
専用または共有サーバー	いずれか	いずれか	専用
CPU	1.6GHz デュアルコア	1.6GHz デュアルコア	3.2GHz クアッドコア
RAM	8GB	12GB	16GB
ディスク容量増加/年	1.5GB/年 (20 データポイントの場合)	15GB/年 (200 データポイントの場合)	75GB/年 (1000 データポイントの場合)
レポート用の継続的なディスク空き容量 <sup>1)</sup>	2GB	4GB	10GB

1) 1 か月間、サンプルあたり 1 分のスキャン

## サーバー要件

可用性	専用サーバーは年中無休で利用できます
サーバー管理	無停電電源 (UPS) に接続 オープンファイルのバックアップに対応したバックアップソリューション ネットワークタイムプロトコル (NTP) サーバーに基づく時刻同期
オペレーティングシステム	Windows Server® 2019 Windows Server® 2016 Windows Server® 2012 R2 (64 ビット) Windows® 10 (64 ビット)
仮想サーバーのサポート	VMWare
アプリケーションのディスク容量	350MB
データベースのディスク容量 <sup>1)</sup>	200KB/データポイント/日 <sup>2)</sup>
ネットワークトラフィック <sup>3)</sup>	約 100KB/分/デバイス
Web インターフェースプロトコル <sup>4)</sup>	TLS 1.2
Web インターフェース用のセキュリティ証明書	認証済みの TLS 証明書とキー <sup>5)</sup>
E メールエンコーディング	RFC 2047
安全な E メールプロトコル	TLS 1.2

- 1) デバイスホストのインストールは対象外
- 2) データポイントとは、データの監視と記録を行うデバイスチャネルです
- 3) デバイスの数、システム構成、通信デバイスのタイプによって異なります
- 4) viewLinc 5.1 には、OpenSSL ツールキットで使用するために OpenSSL プロジェクトによって開発されたソフトウェアが含まれます。<http://www.openssl.org/>
- 5) viewLinc 署名証明書とキーはインストール中に生成できます。

## クライアントの要件

インターネットブラウザ	Google Chrome™ Microsoft® Internet Explorer® 11 Microsoft® Edge™
コンピュータークライアント	サポートされているインターネットブラウザ、2.4GHz の CPU、4GB の RAM を搭載したネットワークコンピューター。
ディスプレイおよびタブレットクライアント	タッチスクリーンまたはマウスで操作するパネル、サポートされているインターネットブラウザ。viewLinc エンタープライズサーバーと同じネットワークサーバーへの接続が必要です。

## ワイヤレスデバイス接続

RFL100 シリーズ <sup>1)</sup>	ヴァイサラ VaiNet プロトコルを使用して接続します。AP10 アクセスポイントの設置が必要です。
HMT140 シリーズ	Wi-Fi プロトコルを使用して接続します。HMT140 設定ケーブルを使用して設定する必要があります。
300 シリーズ変換器	WLAN または LAN インターフェースを使用して接続します。

1) RFL100 シリーズ、AP10 アクセスポイントは日本国内未発売です。

## 有線デバイス接続

vNet デバイスを使用した DL シリーズ	vNet PoE デバイスは 802.3af に対応し、エンドポイントおよびミッドスパンのシステムの両方と連携します。viewLinc Aware は、vNet デバイスを自動的に検出して設定します。 <sup>1)</sup> vNet デバイスのドライバー (付属) が必要です。
単一ポートまたはマルチポートイーサネットシリーズ	イーサネット接続デバイスは固定または予約済み IP アドレスを使用して設定する必要があります。デバイスを異なるサブネットに設置する場合は、設置前に設定する必要があります。ヴァイサラデバイスを接続するために使用する各サーバーに、イーサネットデバイスのドライバーをインストールする必要があります。
USB ケーブルを使用した DL シリーズ	USB とロガーを接続するケーブルを使用して、デバイスを直接 viewLinc デバイスホストに接続します。USBポートが必要です。
Modbus デバイス (RTU または TCP)	USB とデバイスを接続するケーブル (TCP) またはイーサネットとシリアルデバイスを接続するドライバーとシリアルコネクタケーブルを使用し、デバイスを viewLinc デバイスホストに直接接続します。RTU デバイスには、シリアル COM ポートが必要です。TCP デバイスには、静的 IP アドレスが必要です。
警報表示灯 (ライトやブザー)	メーカーの指示に従って、デバイスを接続します。viewLinc で事前設定されたデバイス設定を選択できます。

1) vNet デバイスは 10Mbps のネットワーク速度で稼働し、電力使用量を低く維持します。ネットワークデバイスが異なる速度で稼働できるようにするには、ネットワーク速度を接続先の vNet ポートに合わせて設定してください (vNet User Guide を参照)。

## ネットワークポート

既定	種類	使用者
80	TCP	警報表示灯
443	TCP	viewLinc Web インターフェース
502	TCP	Modbus TCP 対応デバイス
771	TCP	vNet およびマルチポートのイーサネットデバイス
950	TCP	Moxa シリアル - Wi-Fi デバイス
6767	UDP	HMT140
12500	TCP	Twilio Web サービス
12600	TCP/UDP	VaiNet アクセスポイント、vNet またはデバイスホストによる viewLinc エンタープライズサーバー接続
55000	TCP	ヴァイサラ OPC UA サーバー